

労働安全衛生法に関する 化学物質管理の 無料相談窓口のご案内

GHS対応ラベル・SDS、リスクアセスメントなどのご質問に
お答えします。



- ラベルやSDSが必要になるのはどんな化学物質や化学品ですか？
- ラベルやSDSの内容が分からないのですが？
- 化学物質のリスクアセスメントはどのように行えばいいですか？
- 「コントロール・バンディング」「CREATE-SIMPLE」などの使い方を教えてください。
- 担当者が、化学の関連分野に詳しくないので困っています。



050-5577-4862



soudan@technohill.co.jp

事務局HPからメールフォームをご利用いただけます。テクニルと検索ください。

受付時間 月～金 10:00～17:00 (12:00～13:00を除く)
※土日祝日、国民の休日、年末年始を除く

*相談は無料ですが、通話料がかかります。

*相談窓口開設期間は2019年4月1日～2020年3月20日までとなります。

*メールでのお問い合わせについて、内容に応じて電話でのご回答になる場合がございますのでご了承ください。

労働安全衛生法が改正され、平成28年6月から施行されました。この改正により、一定の危険有害性のある化学物質（平成31年4月1日時点で673物質）について

1. 化学物質のリスクアセスメントを行うことが義務化されました。
2. 譲渡提供時に容器などへのラベル表示義務の対象になります。

この相談窓口では、ラベルやSDSの記載内容の理解やこれを活用したリスクアセスメントの方法にお困りの事業者や担当者の皆様からのご質問にお答えしています。お気軽にご相談下さい。

本事業では、リスクアセスメントに係る訪問支援も行っています。併せてご利用ください。

2019年度 厚生労働省「ラベル・SDS活用促進事業」
【事務局】 テクノヒル株式会社 化学物質管理部門

東京都中央区日本橋蛸殻町2-5-3サンホリビル4F

TEL : 03-6231-0133

FAX : 03-5642-6145

E-mail : soudan@technohill.co.jp

http://www.technohill.co.jp/

「化学物質のリスクアセスメント」 訪問支援のご案内


 無料

中小規模事業場に専門家が訪問します

改正労働安全衛生法に対応されていますか？

労働安全衛生法の改正に伴い、危険有害性のある化学物質を取り扱う全ての事業者にも、**化学物質のリスクアセスメント**を行うことが義務化されています。平成31年度厚生労働省「ラベル・SDS活用促進事業」では、無料で中小規模事業場に、専門家が訪問し、化学物質のリスクアセスメント支援と対策のアドバイスを行います。セミナー形式も可能です。

中小規模事業場を対象に専門家が訪問します(無料)

- ◆ 化学物質のリスクアセスメントの仕方を説明します
- ◆ GHSラベルやSDSの読み方をお教えします
- ◆ 化学物質の危険性や有害性を調べる方法をご紹介します
- ◆ リスクを低減するための対策をアドバイスいたします
- ◆ リスクアセスメント結果の内容を説明します

※お申込み受付締切:2020年1月31日
※訪問お申込みは一事業場につき一回となります

こんな疑問にお答えします



- ◇ 化学物質のリスクアセスメントは、どのように行えばよいのですか？
- ◇ すでに自社でリスクアセスメントを行っていますが、本当にこれで問題ないか不安です。アドバイスいただけますか？

訪問支援お申込みについて

事務局（テクノヒル株式会社）ホームページよりお申込みください。

で検索または URL : <http://www.technohill.co.jp>

WEBお申込み入力送信後、自動送信の【受付完了メール】が届きましたら、お申込み完了となります。24時間以内に【受付完了メール】がない場合は、お手数ですが事務局までご連絡ください。お申込み後、指導員または事務局より訪問日程等のご連絡をさせていただきます。

2019年度 厚生労働省「ラベル・SDS活用促進事業」

テクノヒル株式会社 化学物質管理部門

東京都中央区日本橋蛸殻町2-5-3テクノビル4F

TEL : 03-6231-0133 FAX : 03-5642-6145 E-mail : chemical@technohill.co.jp